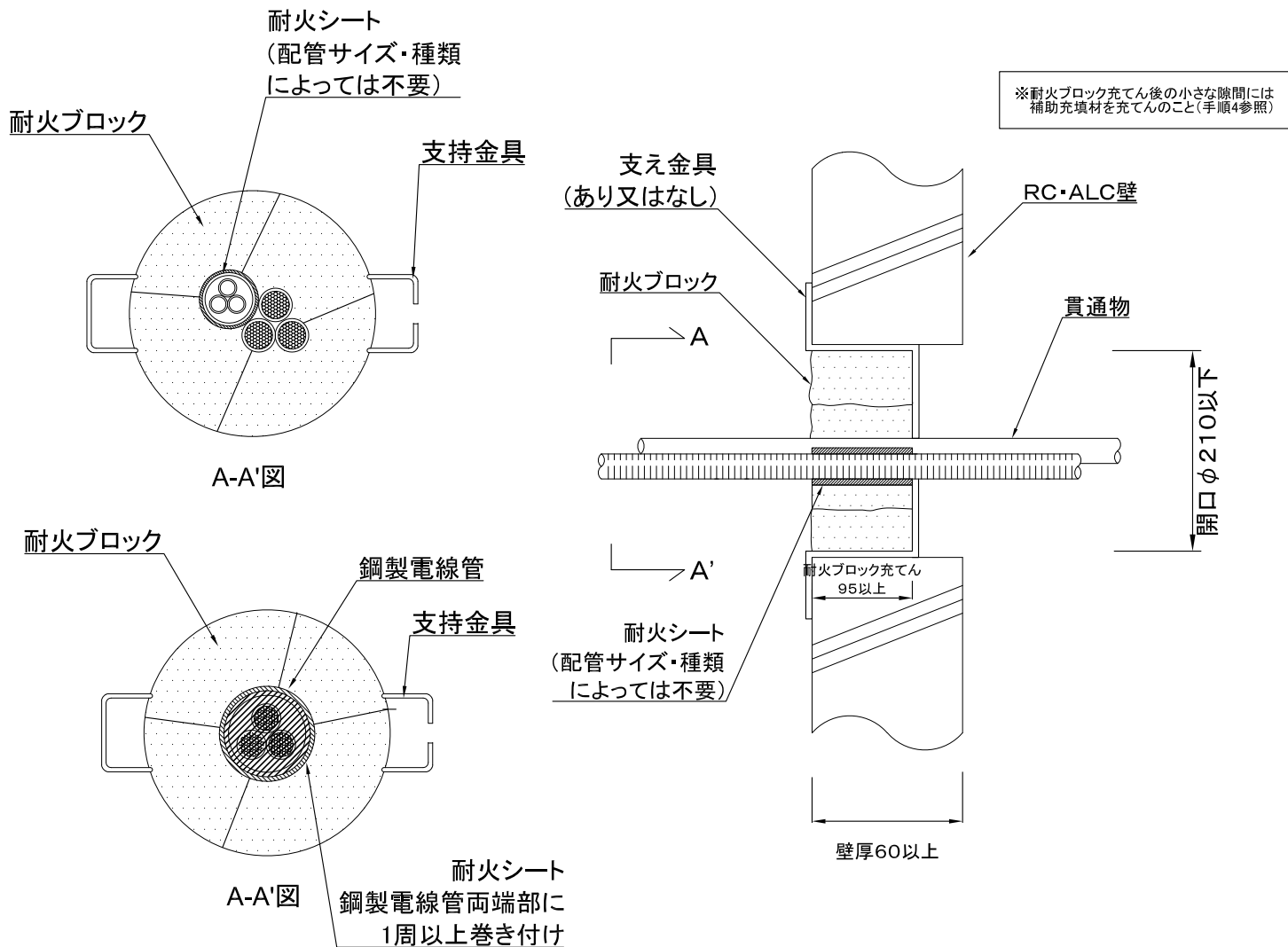


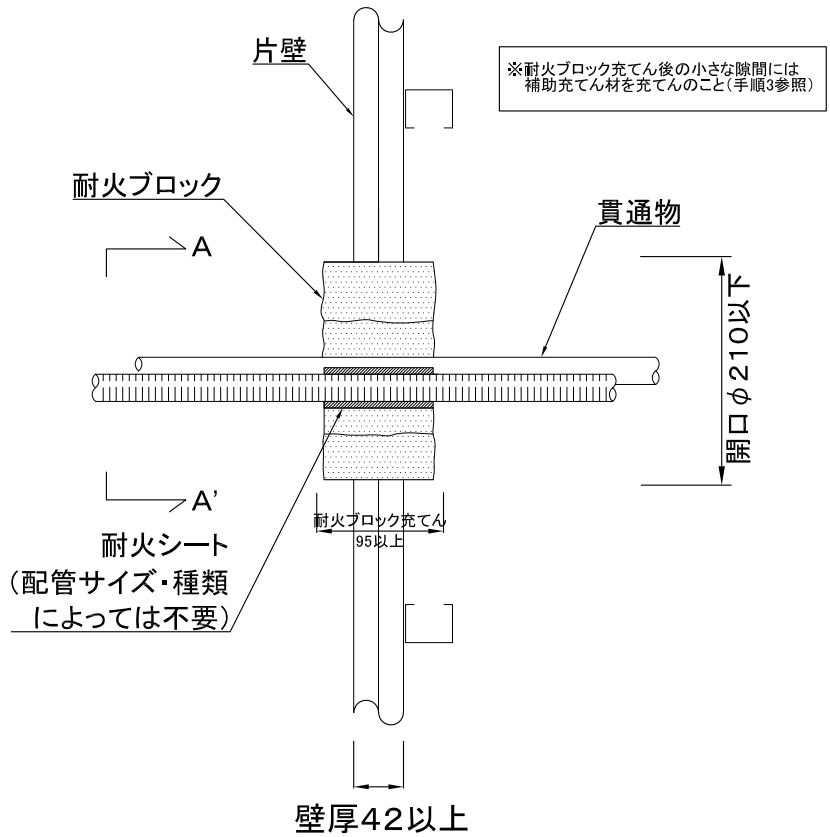
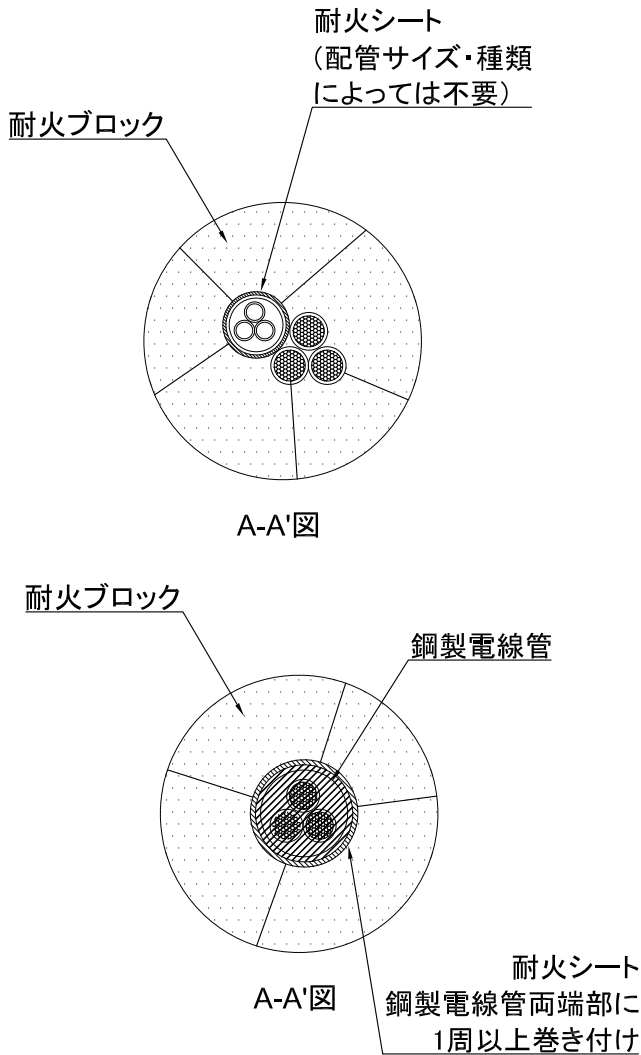
項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-1182-1
貫通する壁の構造等		中空間仕切壁、ECP壁 厚さ60以上 中空間仕切壁は壁厚100を超える場合、要開口補強枠設置
開口部	形状	円形 φ210以下
	占積率	35.0%以下
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック
	耐火シート	ロクマックスシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	325mm <sup>2</sup> 以下 200mm <sup>2</sup> を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ300以上) 端部に耐火シートを1周以上巻き付け(両側施工)
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ300以上) 端部に耐火シートを1周以上巻き付け(両側施工) 貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け
	波付硬質ポリエチレン管	FEP80以下 FEP50以下:貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け FEP80以下:貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け
施工方法		1 貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。 2 支持金具を設置する(開口φ125以上は2個設置)。 3 貫通物、耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。

単位:mm

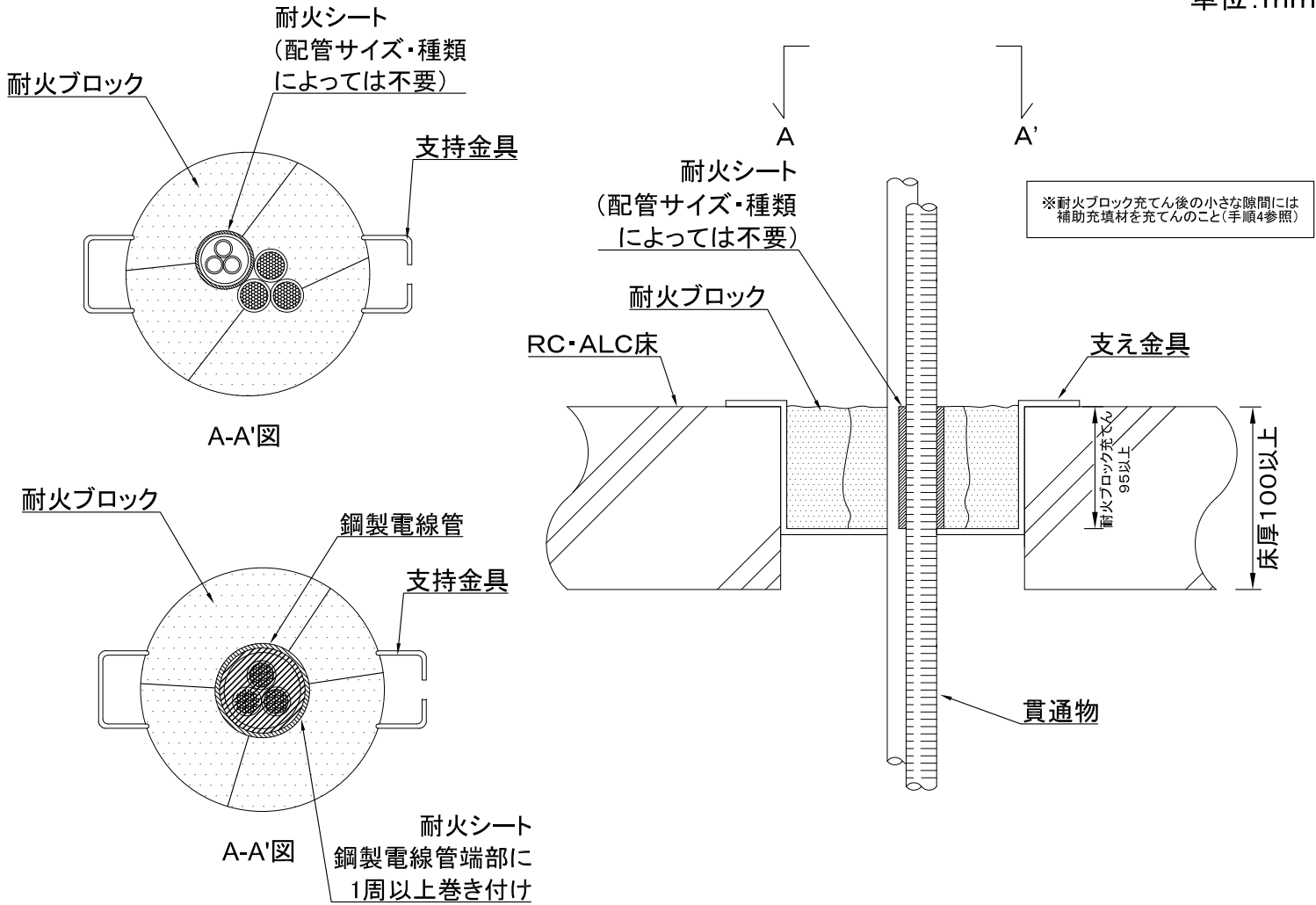


項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PSO60WL-1182-1
貫通する壁の構造等		RC・ALC壁 厚さ60以上
開口部	形状	円形 φ210以下
占積率		35.0%以下
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック
	耐火シート	ロクマックスシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	325mm <sup>2</sup> 以下 200mm <sup>2</sup> を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ300以上) 端部に耐火シートを1周以上巻き付け(両側施工)
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ300以上) 端部に耐火シートを1周以上巻き付け(両側施工) 貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け
	波付硬質ポリエチレン管	FEP80以下 FEP50以下:貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け FEP80以下:貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け
施工方法		<ol style="list-style-type: none"> <li>貫通部に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。</li> <li>支持金具を設置する(開口φ125以上は2個設置)。</li> <li>貫通物、耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。</li> <li>小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。</li> </ol>

単位:mm



項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-1212-1
貫通する壁の構造等		片壁 厚さ42以上
開口部	形状	円形 φ210以下
	占積率	35.0%以下
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック
	耐火シート	ロクマックスシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	325mm <sup>2</sup> 以下 200mm <sup>2</sup> を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ300以上) 端部に耐火シートを1周以上巻き付け(両側施工)
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ300以上) 端部に耐火シートを1周以上巻き付け(両側施工) 貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け
	波付硬質ポリエチレン管	FEP80以下 FEP50以下:貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け FEP80以下:貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け
施工方法		1 貫通部に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。 2 貫通物、耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 3 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。



項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060FL-1226
貫通する壁の構造等		RC床 厚さ75以上 ALC床 厚さ100以上
開口部	形状	円形 φ210以下
占積率		58.0%以下
防火部材	耐火ブロック	ロクマックスブロック
	耐火シート	ロクマックスシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	325mm <sup>2</sup> 以下 200mm <sup>2</sup> を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ300以上) 端部に耐火シートを1周以上巻き付け(床上側施工)
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD22以下:貫通部に耐火ブロックのみ PF・CD54以下:貫通部に耐火ブロック+耐火シート1周以上巻き付け
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ300以上) 端部に耐火シートを1周以上巻き付け(床上側施工) 貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け
	波付硬質ポリエチレン管	FEP100以下 FEP50以下 :貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け FEP100以下:貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け
施工方法		1 開口に支え金具を設置する。 2 貫通部に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。 3 貫通物、耐火シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。